

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀米軍単身下士官宿舎	階数	地上8F
建設地	神奈川県横須賀市楠ヶ浦町無番地の一部	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	396 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2023年1月1日
敷地面積	7,352 m ²	作成者	南関東防衛局
建築面積	1,680 m ²	確認日	2023年2月1日
延床面積	13,247 m ²	確認者	南関東防衛局

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
各寝室及び共用部ファンコイルユニットの制御を、サーモスタット及び電動弁を使用した負荷追従のシステムとして、熱負荷の抑制に配慮した。		特に無し
Q1 室内環境	断熱材を用いて建物の断熱化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
Q2 サービス性能	バリアフリー法の移動等円滑化基準を満たしている。	
LR1 エネルギー	各寝室及び共用部ファンコイルユニットの制御を、サーモスタット及び電動弁を使用した負荷追従のシステムとして、熱負荷の抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置していないため、大気汚染物質の放散がない。
LR2 資源・マテリアル	節水型の水栓(混合水栓)に加えて節水型衛生器具を積極的に採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される